平成29年度行政評価　施策評価シート　（平成28年度実績）

施策名　歴史文化の保存継承と情報発信

施策コード	020302

１．施策の担当

主管課	教育部 教育総務課
関係課	

２．総合計画における位置づけ

総合計画	政策	第２章　歴史・文化を大切にし、ひとを豊かに育むまちづくり（教育・文化）	節	第３節　歴史・文化
	施策	歴史文化の保存継承と情報発信		

基本方針

・歴史館いずみさののより一層の活用を図ることにより、市民が地域の歴史や文化に誇りと愛着を持てるよう市内外にその魅力を発信します。
・日根荘や佐野町場などの魅力的な歴史的資源を市民と共に積極的に保存、活用し、魅力ある街づくりに役立てます。
・歴史資料や郷土資料などの保存とともに、公開を進めます。

現況と課題

・日根荘を中心とした中世荘園のテーマ館としての歴史館いずみさのの機能を充実させるとともに、泉州地域を中心とした歴史や文化についての各種資料の収集、保存及び活用に努める必要があります。更に、市民の歴史や文化についての学習ニーズに応える必要があります。
・市内には、数多くの歴史的資源が存在しており、その資源を活用し、市民と協働して魅力あるまちづくりに役立てる必要があります。
・小学校、中学校の歴史教育や地域教育について、児童及び生徒がより具体的な教材を活用して学習を進めることができるよう、

施策目標

対象（誰を、何を、どこを）

市民

意図（どのような状態にしたいのか）

歴史文化遺産を市民共通の財産として継承・発展していくことで、市の魅力向上・活性化を図ります。

３．市民ニーズ

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度（偏差値）	60.0						
重要度（偏差値）	43.1						

４．施策にかかるコスト

		単位	H27決算	H28決算					
コストの内訳	人件費	千円	31,330	13,645					
	事業費		5,698	25,861					
	フルコスト		37,028	39,506					
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0					
	府支出金		0	24					
	市債		0	0					
	その他		1,290	0					
	一般財源１（＝フルコスト－特定財源）		35,738	39,482					
	一般財源２（＝直接事業費－特定財源）		4,408	25,837					

５．施策の成果指標

① 成果指標１　歴史館いずみさのの年間利用者数

項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	11,750.0	12,000.0	13,446.0	13,546.0	10,065.0	10,115.0	10,165.0
実績値	9,104.0	13,346.0	12,320.0	10,065.0	10,041.0		
達成度	77.48	111.22	91.63	74.3	99.76		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
歴史的文化事業の推進の中心的役割を担う歴史館いずみさのの利用者数を把握することで、市民の歴史文化に関するニーズに対して情報発信ができているかどうかの指標となる。	平成27年度より指定管理者制度を導入した。そのため、平成27年度の実績値を新たな基準値とし、そこから年間50人の増加を目標としたため	平成28年度よりの指定管理者制度へ移行し、市直営のころの展示回数、講座内容等を改訂したため。

② 成果指標２　歴史館活動協力員（ボランティア）の総登録者数

項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	43.0	45.0	28.0	30.0			
実績値	30.0	26.0	26.0	15.0			

達成度	69.77	57.78	92.86	50.0			

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
歴史館活動協力員は、歴史館の様々な活動について、協力を行うボランティア組織。ここへの登録者は、歴史や文化に対して、深い知的欲求や関心を持っていると考えられるので、これを把握することによって、市民の歴史や文化に関するニーズの深まりの指標となる。	市直営の頃には、平成25年度の26人を新たな基準値とし、毎年2人づつの増加を目標としたが、平成28年度より指定管理者制度へ移行するため、平成27年度段階で今までの活動内容による組織は終了した。平成28年度以降の組織及び活動内容については、指定管理者が検討を行い、平成29年度から新たな組織及び活動内容で募集を行っている。	平成27年度段階で市直営のころの活動内容による組織は終了した。平成28年度以降の組織及び活動内容については、指定管理者が検討を行い、募集をしなかったため。

③ 成果指標３　歴史館いずみさのの普及啓発事業の参加者数

項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	867.6	954.4	1,049.8	1,154.8	792.0	817.0	842.0
実績値	1,099.0	1,264.0	1,113.0	792.0	782.0		
達成度	126.67	132.44	106.02	68.58	98.74		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
市民の持つ歴史や文化に関するニーズに応えるため、さまざまなテーマに基づいた、普及啓発活動を行っているが、その参加者数を把握することによって、歴史資料や郷土資料の活用が図られているかどうかという指標となるため。	平成27年度より指定管理者制度を導入した。そのため、平成27年度の実績値を新たな基準値とし、そこから年間25人の増加を目標としたため	平成28年度よりの指定管理者制度へ移行し、市直営のころの講座内容等を改訂したため。

④ 成果指標４　歴史館いずみさのの利用者満足度

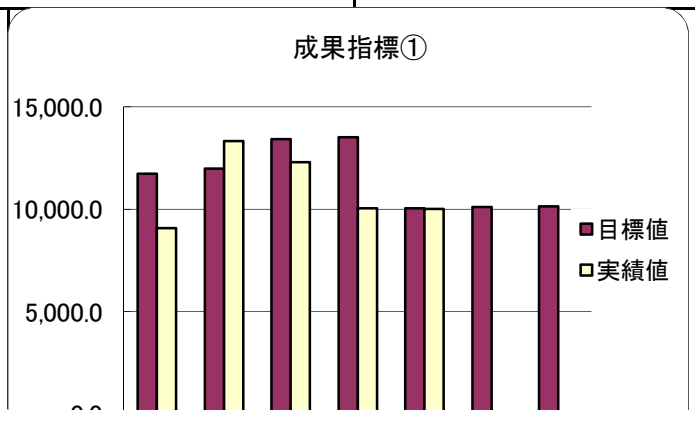
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	80.0	80.5	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値	87.9	85.4	82.0	88.8	84.6		
達成度	109.88	106.09	91.11	98.67	94.0		

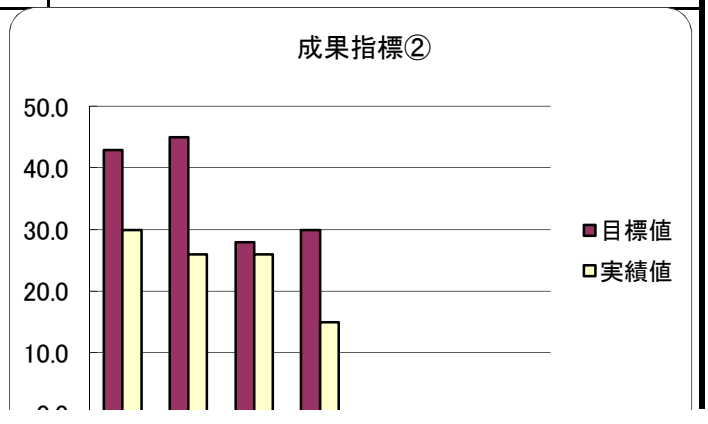
指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
市民の郷土の歴史及び文化に対する関心を高めるために行っている各種事業についてのアンケート調査により、利用者の満足度を把握することで、歴史館いずみさののより一層の活用を図る指標となるため。	かつてはめざそう値の設定年度である平成22年度を75パーセントとして、そこから毎年0.5パーセントの上昇を目標としていたが、平成24年度の達成度109.87、平成25年度の達成度106.08をもとに、平成26年度の目標値の88.0%を新たな基準値として、再度見直しの設定を行い、さらに平成30年度まで90%を目指す。	平成28年度よりの指定管理者制度へ移行した。市直営のころの特別展示や講座内容等を改訂したため。

⑤ 成果指標５　出前授業などの館外・館内における普及事業への参加者数

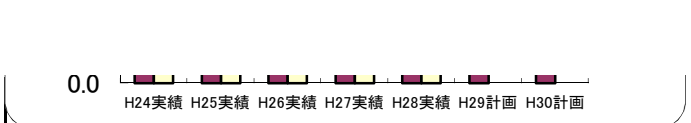
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	1,205.0	1,325.5	1,458.1	1,603.9	1,211.0	1,236.0	1,261.0
実績値	1,205.0	1,135.0	983.0	1,211.0	1,576.0		
達成度	100.0	85.63	67.42	75.5	130.14		

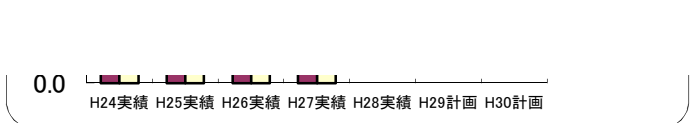
指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
歴史館いずみさのでは、小中学校に対する出前授業や、文化関係団体の講座や公民館等の講座、現地見学会などに講師として学芸員を派遣している。これらの普及事業への参加者数も、歴史館いずみさのの利用者とみなされるため。	平成27年度より指定管理者制度を導入した。平成27年度の実績値を新たな実績値を新たな基準値とし、そこから年間25人の増加を目標としたため	平成28年度からの指定管理者制度へ移行し、館外での派遣回数が増えたため、平成27年度よりは増加した。ただ市内小中学校全ての学校との連携がないため、今後すべての学校との連携を図る必要がある。

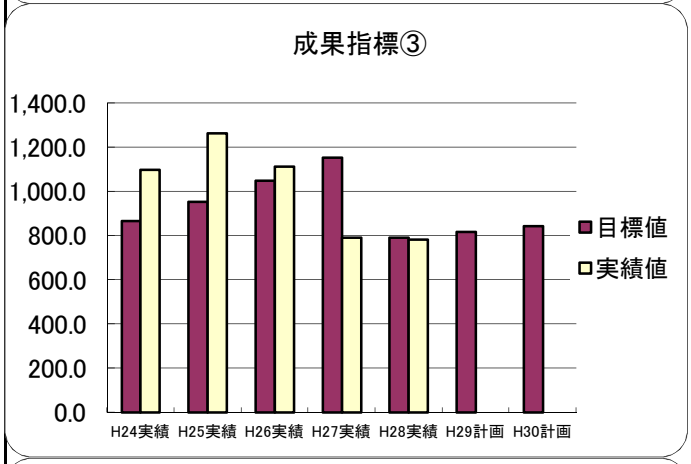


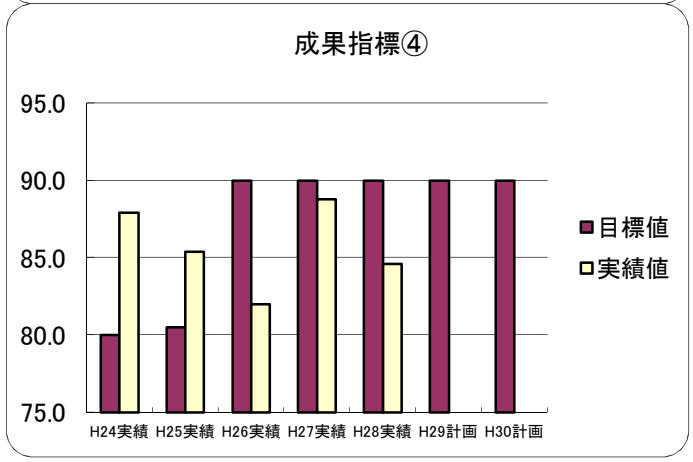


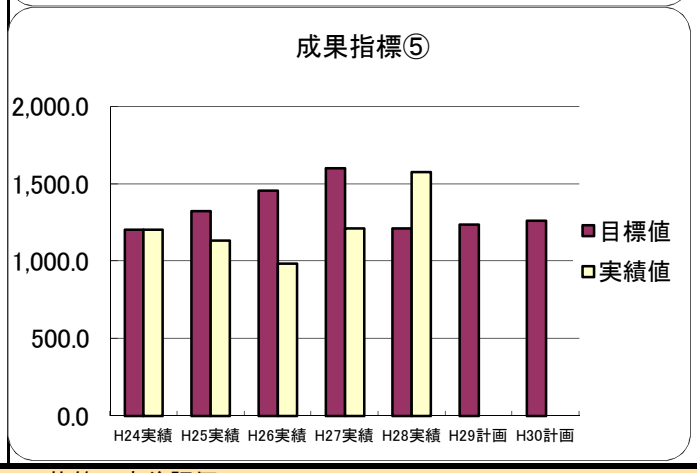
図表











６．施策の事後評価

	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価（担当課による評価）	施策の成果レベル（過去の推移、周辺市との比較なども含む）	（４点中） 4	開館から平成27年度までは市が直営で管理運営を行っていた。開館当初利用者数については、平成12年度までは10000人を超えていたが、平成24年度まで利用者数は減少して、10000人を割っていた。平成25年度入館料を無料とし、利用者数は大幅な増加をみたが、10000人以上の利用者数を維持している。平成28年度より指定管理者制度へ移行し、新たな視点での展示、講座を行っており、歴史館いずみさのに初めて訪れる人がふえてきている。
	施策に対する市民ニーズ	（３点中） 3	博物館施設は、すべての市町村に設けられている施設ではないが（和泉地域で博物館法に基づく博物館施設を設けているのは、堺市・泉大津市・和泉市・岸和田市・泉佐野市の５市）、満足度（偏差値）は88.0と高く、市民ニーズは高い。
	施策を取り巻く状況（法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など）	（３点中） 3	平成20年（2008年）に博物館法の改正が行われた。これは平成18年（2006年）に行われた教育基本法の改正をうけて行われたもので、教育基本法に生涯学習の理念についての条文が規定されたことと関連して、学校、家庭、地域など、「社会全体が協力して教育改革に取り組むことが重要」であるとの現状認識に基づいて行われた。その中には、地方公共団体が果たすべき役割が明示されている。
	合計点	（１０点中） 10点	
	総合評価	A	平成28年度より、指定管理者制度への移行に伴い、新たな視点での展示、講座を行い、歴史館いずみさのへの初めて訪れる人が増えてきている。
二次評価（政策推進課・行財政管理課による評価）		C	目標値の見直しを検討すること。
三次評価（理事者による評価）		C	目標値の見直しを検討すること。 施策の更なる推進に努めること。

７．施策を構成する事務事業

事務事業			H28年度決算額			H29年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01061700	文化財施設管理事業	4,705	2,861	2,837	3,230	B
2	01083248	歴史館管理運営事業	8,940	23,000	23,000	23,000	B

合計			13,645	25,861	25,837	26,230	